

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 4 月 3 日 (2008.4.3)

【公表番号】特表 2007-526577 (P2007-526577A)
 【公表日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-035
 【出願番号】特願 2007-501809 (P2007-501809)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

H 0 4 N 1/40 D

H 0 4 N 1/46 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 2 月 14 日 (2008.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デジタル画像における赤目を補正する方法であって、
 前記画像は少なくとも一つの赤目欠陥対を有し、
 前記方法は、
 欠陥対間隔を測定し、
 前記欠陥対間隔に応じて前記欠陥対の欠陥のサイズを調整し、
 前記調整された欠陥の色を変更する、方法。

【請求項 2】

デジタル画像における赤目を補正する方法であって、
前記画像における成長前欠陥対を検出し、
前記成長前欠陥のそれぞれを成長させて、成長済欠陥対とし、
前記成長前欠陥対と前記成長済欠陥対の一つの要素の間隔を測定して、欠陥対間隔を求め、

前記欠陥対間隔に応じて前記成長済欠陥のサイズを調整して、調整済欠陥とし、
前記調整済欠陥の色を変更して、赤目を軽減する、方法。

【請求項 3】

デジタル画像における赤目を補正するためのコンピュータプログラム製品であって、
処理を行うためのコンピュータプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体を有し、

前記処理は、
欠陥対間隔を測定し、
前記欠陥対間隔に応じて前記欠陥のサイズを調整し、
前記調整された欠陥の色を変更する、製品。

【請求項 4】

デジタル画像における赤目を補正するためのシステムであって、

前記画像は少なくとも一つの赤目欠陥対を有し、
前記システムは、
欠陥対間隔を測定する距離測定部と、
前記欠陥対間隔を受け取り、前記欠陥対間隔に応じて前記欠陥のサイズを調整して、調
整済欠陥とする欠陥成長部と、
前記調整済欠陥の色を変更する色修正部と、
を有する、システム。

【請求項 5】

複数の画素を有するデジタル画像における赤目を補正する方法であって、
前記画素のそれぞれは三色の色成分の値を有し、
前記色成分は少なくとも赤色から最も離れた成分と他の二つの成分とを含み、
前記赤色から最も離れた成分は前記他の成分に比べ赤色スペクトルに対する感度が低く
、
前記方法は、
画像における赤目欠陥の位置を確認し、
調整済欠陥の各画素の前記色成分の前記値を、それぞれ前記赤色から最も離れた成分の
値に設定する、方法。